

けい酸カルシウム板面

18章9節:合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 水性ビルデック艶消(ヤニ止め仕様)

公共仕様No.
DNT-新設・9-5-11

使用材料一覧表

| 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 放散等級 | 希釈剤 |
|--------------------------------|----------------|------------------|-----|
| 1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー | 水性マイティーシーラーマルチ | F☆☆☆☆ | — |
| 2 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント | 水性ビルデック艶消 | F☆☆☆☆ | 水道水 |

塗装仕様

表18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面(けい酸カルシウム板面)の素地ごしらえ【B種】

| 工程 | 塗料その他 | | | 面の処理 |
|----------------|------------------|---|-----------------|------------------------|
| | 規格番号 | 規格名称 | 種類 | |
| 1 乾燥 | — | | | 継目処理部分を十分に乾燥させる。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | — | | | 素地を傷つけないように除去する。 |
| 3 吸込止め | JASS 18 M-201 | 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー 【弊社推奨商品】 ・マイティーエポシーラークリヤー ・マイティー万能エポシーラークリヤー | — | 全面に塗る。 |
| 4 穴埋め、 パテかい | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 一般形 | 釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。 |
| | JIS A 6914 | せっこうボード用目地処理材 | ジョイント コンパウンド | |
| 5 研磨紙ずり | 研磨紙P120～220 | | | パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。 |

(注) 1.屋外及び水回り部の場合は、工程4の合成樹脂エマルジョンパテは、塗料製造所の指定するものとする。
2.工程4のせっこうボード用目地処理材は、素地がせっこうボードの場合に適用する。
3.けい酸カルシウム板の場合は、工程4の前に吸込止めとしてJASS18 M-201による塗料を全面に塗る。
4.仕上材が仕上塗材の場合は、パテは、仕上塗材製造所の指定するものとする。
5.仕上材が壁紙の場合は、パテは壁紙専用のものとする。

表18.9.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (20℃) |
|----------------|--------------------|----------------|---------------|-----------------|------------|--------------------------------|---------------|
| 1 下塗り | 水性マイティー シーラーマルチ | 透明なブルー クリヤー | — | 無希釈 | 刷毛 ローラー | 0.07 | 2時間以上 |
| | | | | | スプレー | | |
| 2 中塗り (1回目) | 水性ビルデック 艶消 | 各色 | — | 5～10 | 刷毛 ローラー | 0.10 | 3時間以上 |
| | | | | 10～20 | スプレー | | |
| 3 研磨紙ずり | 研磨紙P220～240 | | | | | | 清掃後 |
| 4 中塗り (2回目) | 水性ビルデック 艶消 | 各色 | — | 5～10 | 刷毛 ローラー | 0.10 | 3時間以上 |
| | | | | 10～20 | スプレー | | |
| 5 上塗り | 水性ビルデック 艶消 | 各色 | — | 5～10 | 刷毛 ローラー | 0.10 | — |
| | | | | 10～20 | スプレー | | |

(注) 1.素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。

18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ

せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえは表18.2.7により、種別は特記による。
特記がなければ、せっこうボードの目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種とする。

18.9.2 せっこうボード面及びその他ボード面合成樹脂エマルジョンペイント塗り

合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表18.9.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。
なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版」に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。